

福島第一・第二地点津波評価

1. 状況報告

(貞観津波)

- 学識経験者へ貞観津波については未だ研究段階であり、知見が確定していないことから、今回の耐震BCで扱わず、津波堆積物調査、電力共通研究で検討・標準化した後バックチェックを行う予定であることを説明。
- 上記方針について6/25 [redacted]、7/1 [redacted]、7/17 [redacted]、7/23 [redacted] はいずれも異論なし。
- 一方で、[redacted] (6/24) における [redacted] からの貞観地震に関する指摘を踏まえ、評価書では「現在、研究機関等により 869 年貞観の地震に係る津波堆積物や津波の波源等に関する調査研究が行われていることを踏まえ、当院は、今後、事業者が津波評価及び地震動評価の観点から、適宜、当該調査研究の成果に応じた適切な対応を取るべきと考える。」とされている。
- また、貞観の地震・津波について JNES がクロスチェックを行う予定であり、東電の検討状況について審査官から質問あり (8/5)。→検討中である旨回答。

53

2. 今後の対応

- 学識経験者の了解が得られたことから、試算結果を示した上で、バックチェック方針について保安院へ説明を行い、今後の対応について折衝を行う。

3. 津波評価結果 (一部暫定値)

■ 最大水位となるケース

発電所	号機	ケース1		ケース2		ケース3		ケース4		ポンプ許容値
		土木学会手法	○	茨城県津波	○	貞観津波 ^{※1}	×	推本	×	
1F	1	5.4	○	4.2	○	8.0	×	8.5	×	5.6
	2	5.5	○	4.3	○	8.7	×	8.7	×	5.6
	3	5.5	○	4.6	○	8.7	×	7.8	×	5.6
	4	5.6	○	4.7	○	8.7	×	8.0	×	5.65
	5	6.0	×	4.2	○	9.1	×	10.1	×	5.6
	6	6.1	×	4.3	○	9.2	×	10.2	×	5.7
2F	1	5.1	○	4.7	○	8.0	×	6.3	×	5.1 ^{※2}
	2	5.2	○	4.4	○	7.7	×	6.4	×	5.1 ^{※2}
	3	5.2	○	4.2	○	7.7	×	7.0	×	5.2 ^{※2}
	4	5.2	○	4.3	○	7.8	×	8.0	×	5.2 ^{※2}

※ 1 貞観津波の計算は平均潮位から計算した取水口前面の水位。それ以外はポンプ位置

※ 2 H14年バックチェックの水位。H14水位に対して建屋扉等の水密化で対処済み。